

【スタッフ・セミナー】 フォルカー・ミヒャエル・イエーニツヒ教授（イエーナ大学）「ドイツ法による自動運転の責任」

【スタッフ・セミナー】 フォルカー・ミヒャエル・イエーニツヒ教授（イエーナ大学） 「ドイツ法による自動運転の責任」

福田 清明

イエーニツヒ教授は、明治大学の招聘で日本にお越しになり、この日本滞在の機会に、明治学院大学法学部でのスタッフ・セミナーの講演を引き受けてくださった。「ドイツ法による自動運転の責任」というとてもアクチュアルなテーマでの講演は、先に他大学での実施が決まっていたが、懇願して明治学院でも同じテーマで講演して頂けることになりました。ドイツ語原稿を事前に頂戴し、福田が日本語に翻訳したものを、本学でのスタッフ・セミナー限りで、参加者にお配りしました。

講演者 Prof. Dr. Volker Michael Jänich

テーマ Die Haftung beim automatisierten Fahren nach deutschem Recht

通 訳 福田清明（明治学院大学）

日 時 2023年10月4日（水）15時～17時30分

場 所 明治学院大学 白金校舎本館8階 法律科学研究所会議室

参加者 穴沢大輔教授。太田和俊教授、小島秀夫教授、波多江久美子教授（以上、明治学院大学）、メンクハウス、ハインリッヒ教授（明治大学）。

講演後の質疑応答で参加者から5つの質問が出され、それらに丁寧に答えていただきました。

講演者紹介 フォルカー・ミヒャエル・イエーニツヒ教授（民法、ドイツ及び国際知的財産法）は、1964年ハノーファーで生まれ、1984-89年オスナブリュック大学法学部で学ぶ。1989-91年オスナブリュック大学の研究所助手を務め、1993年博士号を取得（博士論文「ドイツ不正競争防止法における禁止基準の高度化：誤認惹起要件の規範形成と解釈」）。1995-2000年オスナブリュック大学法学部助手。2000年に教授資格を取得（教授資格論文「知的所有権——有体物所有権の補完的現象か？」）。2001年イエーナ大学から教授職の招聘を受け受諾。以来イエーナ大学法学部教授。講演者は、「Lauterkeitsrecht（不正競争防止法）」2. Aufl., Vahlen 2024の著者としても知られている。



講演中のイエーニツヒ教授

（文責 福田 清明）